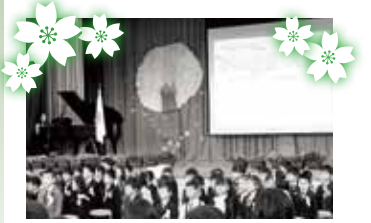


度会町議会 だより

平成27年 第1回定例会 3月5日～13日
一般会計に35億4100万5千円・30議案を可決



希望の光…73名、
度会小入学(4月6日)
●4年間、ありがとうございました。
…広報委員

◆人権擁護委員に竹内喜文氏(立岡)を推薦同意

◆27年度一般会計予算の特徴：骨格予算を編成：道路橋梁費で対前年度比9100万円余を減額

◆地方創生関連予算

・26年度に6488万3千円を計上し、全額繰り越し、27年度で執行するもの。：プレミアム付き商品券の発行、町営有償バス運送、宮リバー度会パーク魅力アップ事業、茶園等再生利用支援事業、ふるさと歴史館事業、保育環境改善事業等に充てる。

◆歳入

・主に、簡水特別会計(統合整備)への繰出金の影響により、5億4200万円を基金の取り崩しで対応。対前年度比33%アップ。
・和井野頭首工整備計画に係る県補助金2200万円を計上。

・魅力ある制度を工夫し、ふるさと寄付金に500万円を見込む。
・町債(借入)1億7200万円を予定。

◆歳出

・議員定数1名減に伴う議員報酬190万円余の減額
・社会保障・税番号制度支援委託料(マイナンバー制度)に2935万円余。
・第6次総合計画後期基本計画の策定委託料340万円。

・町長・町議会議員選挙費に942万3千円。
・臨時福祉給付金990万円、福祉医療費補助金(障がい者：一般・65歳等)3354万1千円。
・障害福祉費(生活介護扶助)に4758万円。

・中学3年生までを対象にした福祉医療費(子ども)補助金に2087万3千円。
・簡水特別会計への繰出金に4億2253万5千円。
・放課後児童クラブ運営費に1751万円。
・合併処理浄化槽関係補助金に2360万8千円。
・遊休農地荒廃防止対策事業補助金に66万円。
・鳥獣害防止対策補助金に1915万1千円。
・獅子ヶ岳登山道整備に300万円。
・南部地域活性化推進事業(サニ市)に216万7千円。
・地積調査業務委託に231万6千円。

・「遊水プール鏡」入場者50万人の達成が見込まれることにより、セレモニ経費を見込む。
・防災備品【トイレ、パーテーション】に275万1千円。
・大規模地震時における小中学校の校舎窓ガラス飛散防止対策工事等に5952万2千円。
・給食センター配管工事等に650万円。
・公債費(元利償還金)に2億8643万円。
※今年度末の残高見込み(元金)：33億5472万3千円となります。

・みえ森と緑の県民税市町交付金基金(新規)に200万円。
※26年度一般会計補正予算、特別会計予算(27年度当初、26年度補正)並びに条例関係議案の詳細は、広報わたらい4月号をご覧ください。

◆議案に対する質疑

27年度一般会計予算

・商工費としての6次産業化補助金とは？
・新電力、エネルギーサービスプロバイダー委託及びデマンド監視委託とは？
・防災需用費の内訳は！
・27年

度予算に計上されなかった川口く役場間の町営バスの運行は？
・改善センターの光熱水費と積算根拠！
グラウンド管理委託料には除草作業等も含むのか！

26年度一般会計補正予算

・地方創生関連事業について、国は今までにないPDCA(プランを立て、実行し、検証・チェックを活かした次のアクションにつなげる)サイクルにより地方の人口減少社会に活力を生み出すとします。町も約6千万円余の予算を計上したが、このPDCAサイクルをどのように行っていくのか！

森と緑の基金条例

・2百万円を積み立てることとなる、この新しい基金の活用を尋ねる。管理が危ぶまれる林道の維持管理と私有林の公有林化を要望！

予算決算常任委員会

委員長 芝山延男 副委員長 舟瀬勝
委員 議長を除く他全議員

○27年度一般会計予算

議会事務局

・定数減による報酬総額が190万3千円減額されるものの共済費が166万9千円増えるのは、全国の議会でも負担する旧恩給制度等(現議員に適用のない)によるものか！

総務課

・町議会議員選挙だけとした場合の費用の試算は！
・4地区避難場所での訓練の計画は？
また、何人かでの宿泊訓練が必要！
・27年度の川口く役場間の町営バスの運行は、26年度を検証した上としていたがその内容は！
&やるなら南伊勢高校生徒の通学にも配慮を。
・ふるさと納税の増進を目指して、お礼のグレードを上げる考えに変わったのか！

政策調整室

・まちづくり推進委員会の開催計画は！
・総合計画の後期基本計画は議会の議決を求めるのか！
・道の駅関連予算は計上されなかったのか！

税務住民課

・空き家が増える傾向にある。課税の状況は！

福祉保健課

・保育所保護者負担金の未納と収納状況を問う。
・社会福祉協議会への補助金が減額されているが、その根拠は！

生活環境課

・簡水会計繰出金744万6千円(法適化経費)の内容を問う。
・水道水源審議会の開催計画と対象事業は！
・不法投棄防止対策とその効果は！
・合併処理浄化槽の普及目標と成果を問う。

★27年度簡水特別会計(統合整備分)

・二酸化炭素排出抑制対策事業補助金1千万円の使途とその効果予測を尋ねる。
・今年度基金取り崩し後の残高と公会計移行後の水道料金の見直しについて尋ねる。

産業振興課

・遊休農地荒廃防止対策事業補助金(66万円)を計上しているが、根拠となる「荒廃地調査」の結果を問う。
・水稲農家のうち個別補償を受けた農家の比率は！
この結果から見えてくる今後の町水田農業の在り方を問う。
・宮リバー度会パークの遊具点検状況は！
また遊水プールの施設の点検主体は？
・6次産業化補助金と商工連携の解釈は！

建設課

・宮川水系期成同盟会負担金(3万円)に関連して、過日、宮川の水力発電事業がすべて県企業庁から中部電力に移管された。
発電による利水が下流域の水質・水量に悪影響を及ぼさないように検証と監視を要請。

教育委員会

・食物アレルギーを持つお子さんへ、給食センターと学校職員のきめ細やかな対応を求める。

・給食センターの調理器具の保守責任はどこにあるのか！
また近時発生した、猪肉から金属異物が探知された時の対応を問う。

出納室

・プレミアム商品券の出納処理方法について聞く。

○26年度一般会計補正予算

・26年度国保会計へ3000万円を繰り出すこととなるが、国保会計の単年度収支の見直しは！

・地方創生関連事業として計上された世代間交流用教材備品購入費320万円の活用方法とこれが地方の人口減対策とする考えを問う。・不正利得による介護保険繰出金の返戻の内容は！

産業振興課

・地方創生関連予算・茶園等再生利用事業補助金(150万円)の効果と対象箇所を問う。また再生後の導入作物に対する支援を求め。・山間部において、農地周辺の立木の枝が日照を阻害するなどの影響が出た。共助を援助する施策を求め。・プレミアム商品券は、使途が限定されるのか！

教育委員会

・ふるさと歴史館の地震対策の状況を探る。

3月13日 一般質問 (要約)

岡村 広彦

●町長の3選出馬について
①3選出馬への意志について
②3選出馬であるなら、今後、4年間の町政運営にかかる目標や施策について

濱岡 裕之

●住民生活における交通の足について
国土交通省は2月6日、貨物トラックに客を乗せたりタクシーで荷物だけを運んだりする『貨客混載』を一部の過疎地で解禁する方針を決めました。

①住民の利便性を考慮した、今後の導入に対する研究を要望します。

②買い物代行等の手段として利用の考えの有無は！

●空き家対策について

平成27年5月に全面施行される「空き家対策推進特措法」に合わせた度会町としての具体的な対策について質問します。

①町が把握している実数や倒壊の危険度について
②所有者や管理者への具体的なアプローチの有無
③相統税法の変化や国の「地方創生」によるイターンのPRの有無。

●旧一之瀬小の利活用について

一年前の質問で、広く公募制によるホームページの呼びかけをしていくとの答弁をいただきましたが、その後の進捗状況を聞かせてください。

①26年度中に方向性を出すとのことでしたが結果は！

②雑草化しているグラウンドを人工芝にし、種々のスポーツ(グラウンドゴルフ等)の振興を！

③教室の「図書室」としての利用や運動器具設置による定住対策や介護予防ニーズに添えては！

芝山 延男

●道の駅構想とアンケート調査について

①町長の道の駅構想を聞いてから2年余りが経過しました。本町には販売商品が少なく、仮に道の駅ができたとして、どのような商品を販売につなげていくのか！具体的な道の駅構想をお聞かせください。

②アンケート調査の速報では、道の駅の利用目的は休憩トイレが48%、食事・買い物43%となっており。また、道の駅についてあまり良いと思わない回答者の理由は、財政が心配だから71%、集客が心配56%、町の活性化につながると思わないが50.3%。このアンケートの速報を町長はどのように思われますか！

●ふるさと納税について

ふるさと納税制度ができ、各市町が競い合い、いかにわが町に納税していただくか、地元の魅力ある商品をお礼にと考えています。度会町もふるさと納税を少しでも多く納税していただけるように、食品類のお礼の品を多くしてはどうでしょうか。

福井 秀治

●介護保険について

平成12年から、介護の問題を社会全体で支え合っていくという趣旨で始まった介護保険ですが、

今通常の3年毎の見直しとは別に、大きな変更が進められようとしています。要支援1と2の高齢者向けのサービスの一部を市町の事業に移行する制度改正で、介護予防・日常生活支援総合事業と呼ばれ、事業所のサービスだけでなく、元気な高齢者に支える側に回ってもらいNPOやボランティアとしての担い手となって地域の住民同士が助け合う仕組みを作ります。

取り組み次第では、サービスの質量に地域間格差が生じることが考えられます。人口減少と少子高齢化が著しい小規模自治体においては、担い手づくりの確保が大変難しく、そのため、受け皿の整備等に時間が必要とのことから平成29年4月まで実施への猶予が可能となっています。

登喜三雄

●国の示す地方創生策も勘案しながら、進むべき度会町の将来をどこに導こうとするのか！

消滅可能自治体に位置づけられる本町も、各集落・コミュニティの皆さんとともに、少子高齢化を伴う人口減少に逃げることなく正面から向き合うことが大切です。このことから、農林業をはじめとする町の経済、インフラ整備の在り方、教育、社会的弱者への福祉対策それに財政の基となる税政もすべてが見えてきます。

質問1 度会町の25年後(2040年)の字別人口推計値とこの推計値から見えてくる将来像：限界集落、消滅可能集落の存在は！また将来像は、農業の所得依存度・買い物難民・民営バスの存続・保育所の統合・老老介護・開業医の継承・IT化の遅れ・役場の規模縮小：反面：・巨大地震、気候変動による人口移動がおきる。の視点でお答えください。

質問2 地方版総合戦略をどのように描くのか、またその事業展開を尋ねる。：持続可能な度会町に向けて、国の示す252の事業を勘案した事業展開は！短い時間の中で提案された、26年度補正予算を評価しますが、人口減少に歯止めをかける「雇用の創生」に係る視点が不足しています。「新規産業の起業につながる研究機関」の設置を提案する。

議会の記録

○2月20日 議員懇談会

・新電力への移行(役場、遊水プールほか)
・道の駅アンケート速報
・まち・ひと・しごと創生の取り組み

○2月26日 議会運営委員会

・第8回美し国駅伝結果・課の再編
・第1回定例会日程等協議

○2月26日 議会広報特別委員会

・定例会ケーブルテレビ放映等協議

○3月5日 議員懇談会

・人事議案の日程等協議
・町議会委員会条例の改正協議

○3月10日 町内視察

・再生可能エネルギーの町へ



度会ウインドファーム…獅子ヶ岳山麓現地を検証
中村議長 他11名

○3月13日 議員懇談会

・道の駅基本構想(案)説明・質疑

○4月15日 議員懇談会

・人事異動・介護保険料の改定・保育料の改定等
・地方版総合戦略の策定・特区制度等：報告協議

○4月15日 度会郡町議会連絡協議会

・郡内議員研修会：「地方創生」をテーマに、毎日新聞論説委員・人羅格氏を迎えて

※紙面の都合上、特定議員活動と参加式典等を割愛しました。